

ソーシャルチャレンジバレーへの挑戦

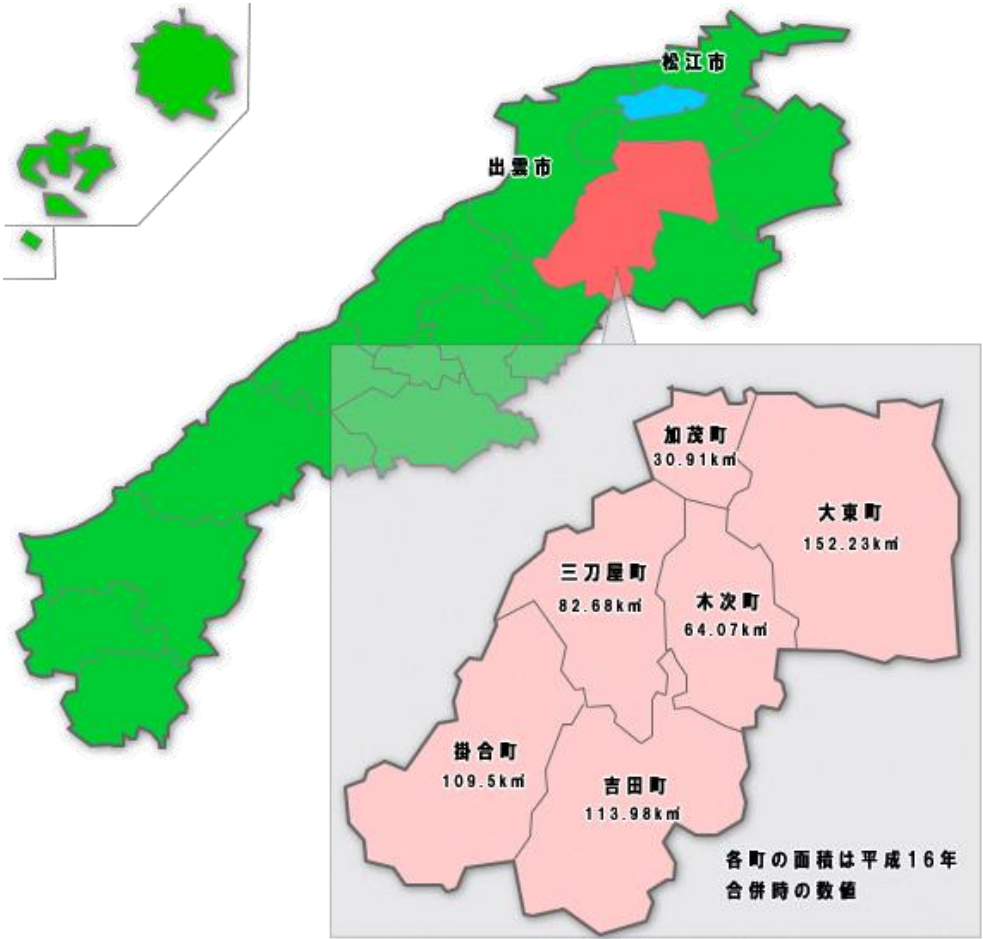
～「子ども×若者×大人×企業チャレンジ」による持続可能なまちづくり～



2022年2月4日

島根県 雲南市

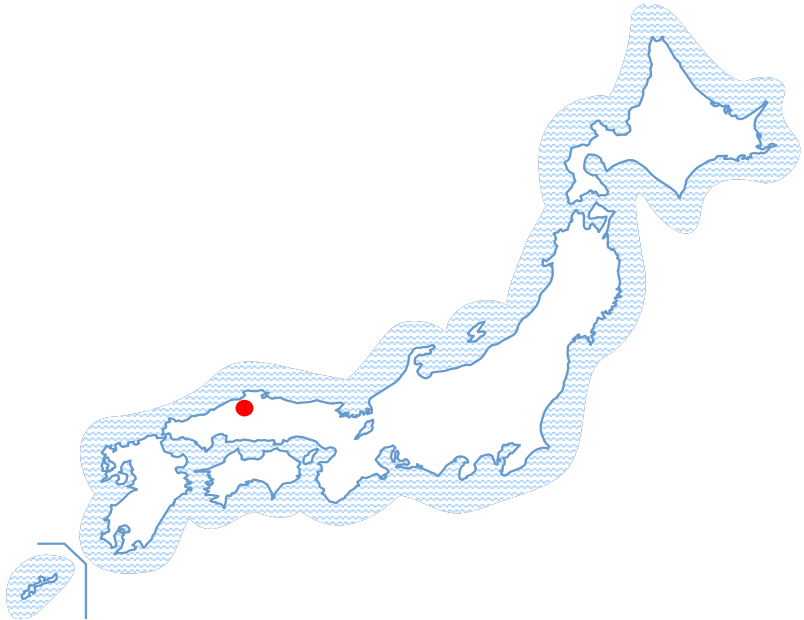
雲南市の現状



面積 ≒
東京23区 (約550km²)

人口 約3万6千人

高齢化率 40%



平成16年11月 合併し誕生

雲南市総合戦略 ～『人口の社会増』への挑戦～

【重点戦略1】 子育て世代の流出抑制と転入増を図る「定住基盤の整備」

- 子育て環境の充実
- 仕事への支援
- 住まい施策の強化
- 移住・定住の促進



「UNNAN子育て応援会議」



「ママの働き方セミナー」

【重点戦略2】 地域課題解決にチャレンジする「人材の育成・確保」

「子ども×若者×大人×企業チャレンジ」の連鎖による持続可能なまちづくり

将来を担う人材を育む
子どもチャレンジ



子どもたちの主体性を育む
「中高生の！幸雲南塾」

地域の未来をつくる
若者チャレンジ



若手人材を掘起しネットワーク
する「幸雲南塾（大人版）」

地域自ら地域をつくる
大人チャレンジ



地域住民で運営する商店
「はたマーケット」

地域と企業との協働
企業チャレンジ



ラストワンマイルの課題解決
「グリーンスローモビリティ」

「人口の社会増」と「課題解決先進地」へ

「人口減少の克服」と「成長力の確保」

子どもチャレンジ

高校魅力化、中高生の！幸雲南塾



教育魅力化コーディネーター

雲南市のことが好き（高3）

92.7%

<H30 : 88.5%、H29 : 88.1%>



地域フィールドワーク

将来、雲南市で働きたい（高3）

54.4%

<H30 : 46.2%、H29 : 46.5%>

地域課題に対し、解決策を考え
行動（活動）したことがある（高3）

64.6%

<H30 : 56.6%、H29 : 52.7%>

将来、雲南市に住みたい（高3）

66.8%

<H30 : 60.6%、H29 : 60.4%>

地域と学校の協働による教育魅力化

学校から地域へ、地域から学校へ。
地方だからこそできる豊かな資源を活かしたオリジナルな教育プログラム

学校と地域や 社会を繋ぐ

高校生の主体性を引き出す地域でのプログラムやチャレンジする大人との出会いをつくり、探究的な学びの機会を届ける



- 1 大東高校
- 2 三刀屋高校
- 3 三刀屋高校掛合分校

400人以上の地域の方々が参画
(年間)

雲南式探究プログラム

雲南の強みであるチャレンジする大人や地域のフィールドを知り、感じ、出会い、協働する。他者の意見を受容し、壁にぶつかる経験を繰り返しながら、自己の強みに対する認識を地域のなかで深めていく教育環境が雲南にはあります。



地域を知る

地域の大人の人生を学ぶ
「社会人カタリ場」



地域を感じる

地域チャレンジとの出会い
「地域フィールドワーク」



行政を知る

雲南市の事業を題材に学ぶ
「SIMULATION雲南」



スペシャルチャレンジ
を实践する

地域とともにチャレンジ
「地域課題研究・未来創造」

若者チャレンジ

約**90名**の
新規雇用

約**9億円**の
経済波及効果

約**200名**の
ローカルチャレンジャー輩出



本気で地域をつくる若者を育む

プラチナ大賞“総務大臣賞”受賞

幸雲南塾の取り組みが
第4回プラチナ大賞総務大臣賞を受賞！！

安倍前首相の所信表明演説で紹介

平成30年10月24日、安倍首相の所信表明
演説にて雲南市の若者チャレンジが紹介！！

地域再生大賞“準大賞”を受賞

平成29年度に「NPO法人おっちらボ」が
若者チャレンジ支援を通じて準大賞を受賞！！

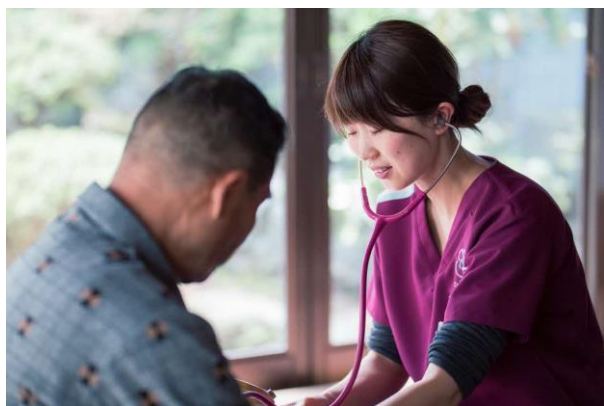
日経ウーマン・オブ・ザ・イヤー受賞

幸雲南塾1期生の矢田明子さんが
「コミュニティナース」育成事業で受賞！！



**2013年、「おっちラボ」設立。2014年、NPO法人化。
地域で若者のチャレンジを支援する「中間支援組織」の誕生。**

【若者チャレンジ・起業事例②】 コミュニティ ケア



Community Care

訪問看護ステーション 『コミケア』



若手看護師 3 名で創業し、14 名に雇用拡大

『人とつながり、まちを元気にする』コミュニティナース

地域の人々の暮らしの身近な存在として
『毎日の楽しいや嬉しい』を
まちの人と一緒に作り、
『心と身体の健康と安心』を実現します。





介護予防
× 買い物支援

光プロジェクト株式会社





雲南市スペシャルチャレンジ制度

意欲ある子ども、若者にチャレンジ資金を提供


スペチャレサポーター

 応援者

 企業など

ふるさと納税

寄付

 雲南市



雲南スペシャルチャレンジ事業

チャレンジ資金・サポート



中高生

スペチャレ・ジュニア



チャレンジ精神を養う
研修・プロジェクト



大学生

スペチャレ・ユース



徹底的に視野を広げる
研修・プロジェクト



若者

スペチャレ・ホープ



地域に必要な仕事を生み出す
起業・創業



雲南の未来をひらく
特別なチャレンジ、
「スぺチャレ」。



みんなのチャレンジは、ウェブサイトで公開中！
「雲南スぺチャレ」で検索

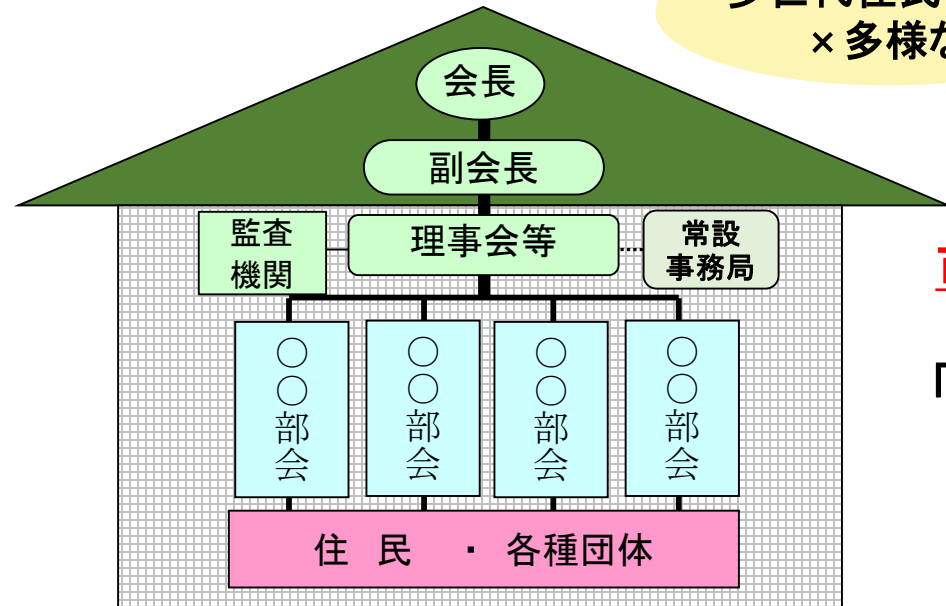
大人チャレンジ

概ね小学校区域で広域的な地縁組織「地域自主組織」を結成

～考え方～
“1世帯1票制”
ではなく
“1人1票制”

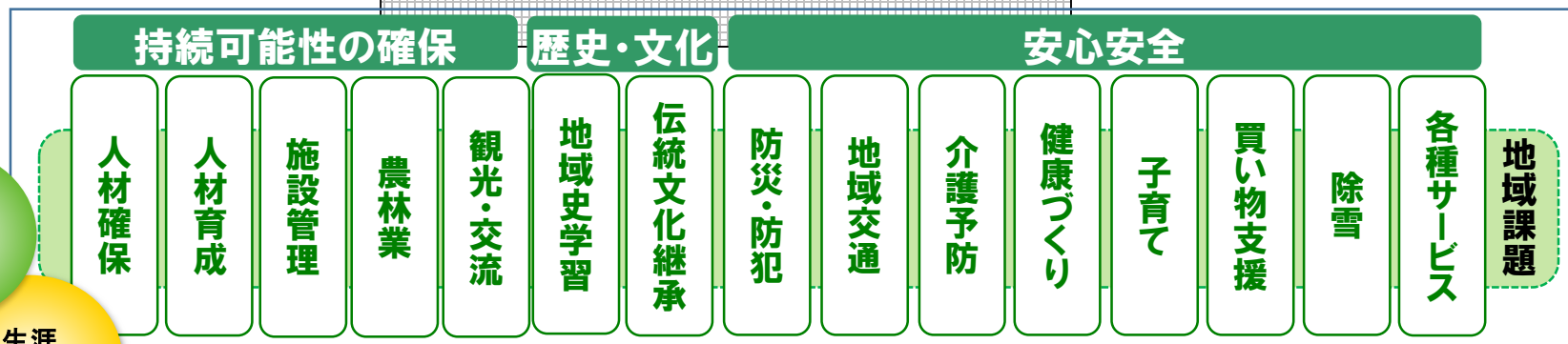
～目的～
地域課題の解決
“地域でできる
ことは地域で”

多世代住民
× 多様な団体



市内全域に30組織

- 「交流センター」30か所
- ・公民館を転換(H22)
 - ・組織の活動拠点



地域づくり

地域福祉

生涯学習

地域課題を、住民自らが、事業化して解決！

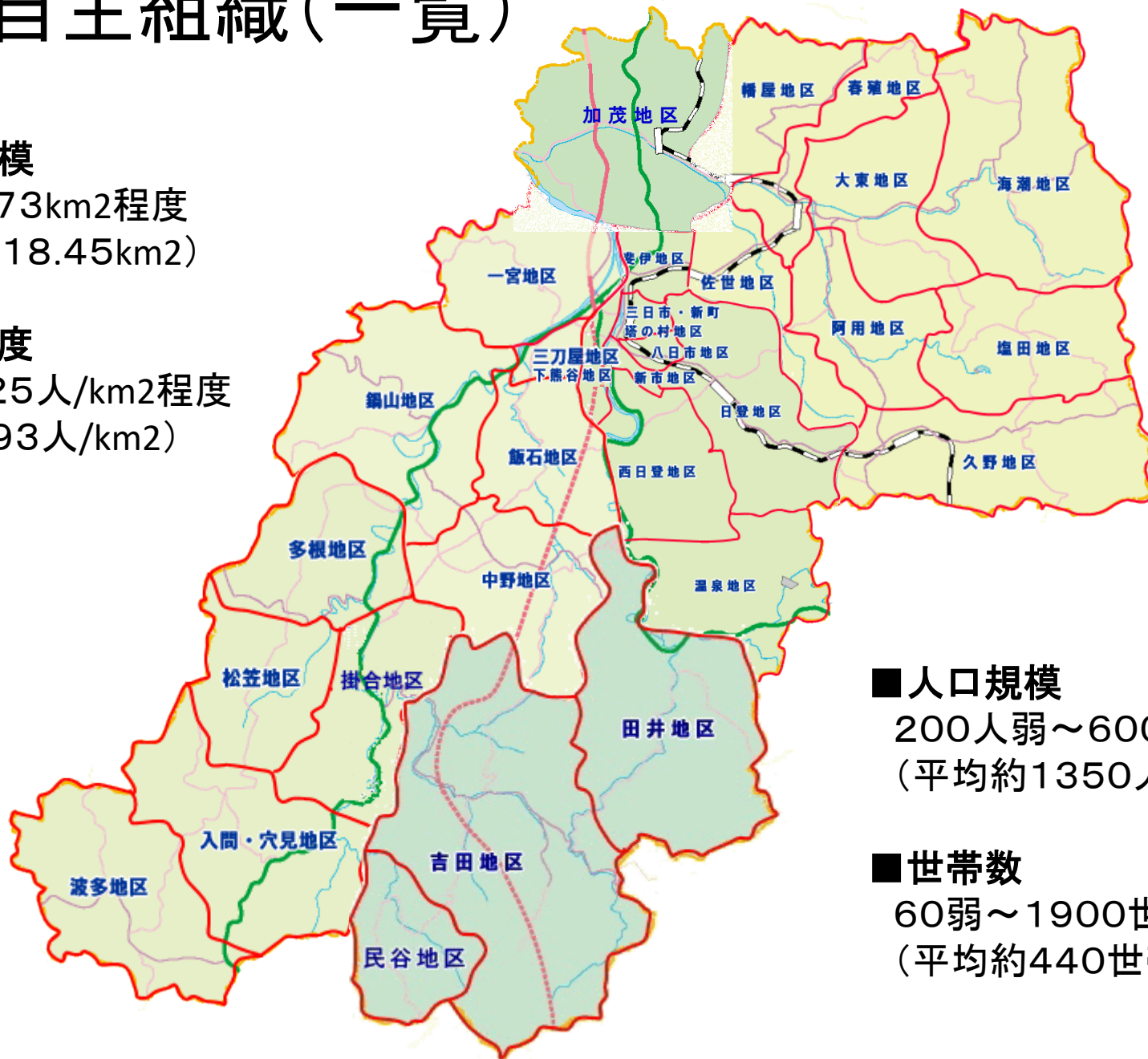
地域自主組織(一覽)

■面積規模

0.85~73km²程度
(平均約18.45km²)

■人口密度

10~925人/km²程度
(平均193人/km²)



■人口規模

200人弱~6000人程度
(平均約1350人)

■世帯数

60弱~1900世帯程度
(平均約440世帯)

商店が
なくなる



寄り場がなくなった！

買い物ができんがね！

楽しみがなくなったわあ

車を持たない方、高齢者の中に
不安の声が広まる。

交流センターの中に
お店があればいいのに！

という声も上がりました。

雲南市からの紹介で交流センター内
にお店を設置しようという案が出ました。



「はたマーケット」の開設



住みなれた地域で暮らしつづけることができるまちづくりのための**福祉事業**として位置づけています。喫茶コーナーを設置し、買い物に来た皆さんがくつろげるスペースを設け、外出支援、**さりげない見守り活動**にもつなげています。

(主なお客様 ~ **移動手段を持たない方**)

売り場面積	約50平方メートル
取扱品目	当初1000品目⇒現在800品目程度
利用者数	1日平均30人(平成30年度)
販売価格	大手スーパー並みの価格



マーケットで出会った人同士で、世間話に花が咲きます。「元気だったかね、家で何しちよるかね」

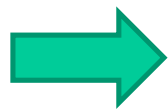
はたマーケット販売業務

波多交流センター職員

雲南市からの地域づくり活動交付金で波多コミュニティ協議会が雇用しています。



交流センター事務室では
普段の仕事を行います。



職員5人が役割り分担をして、普段の業務とはたマーケットをやりくりしています。
やっと慣れてきた運営ですが、まだまだこれからです。地域の皆さんと一緒に盛り上げていきたいと思っています。



地域内交通「たすけ愛号」

車を持たない高齢者の方、一人暮らしの方から、手軽に頼める交通機関があれば嬉しいとの要望により「たすけ愛号」の運行を21年度から始めました。いまでは、地域に無くてはならないものとなっています。
 現在、**無料送迎**の試行を行っています。

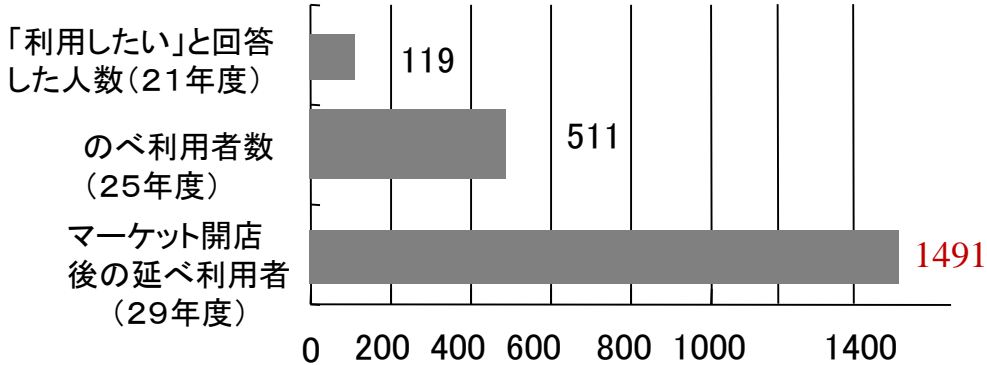
波多地区内をエリアに送迎を行っています。運転は、主に交流センター職員が行い、運行時間は、原則交流センターの勤務時間内としています。平成30年度は、1日当たり**5.2人**の利用となっています。



平成31年3月、外部波多出身者の方70名ほどの寄付により福祉車両を購入、たすけ愛2号として高齢者、足腰の不自由な方に喜ばれています。

**リピーター多い！
潜在ニーズ多い！**

「たすけ愛号」の利用ニーズと実績



利用用途： マーケット(47%)、交流センター(15%)、温泉(12%)、診療所、バス停、知り合い宅、ATMへなどの送迎

企業チャレンジ

企業との協業による社会課題解決



【第一弾協定／2019年4月】
雲南市・竹中工務店・ヤマハ発動機・NPO法人ETIC.

現在、都市圏等の企業10社と協業プロジェクトを展開

地域住民やタクシー事業者と連携した 地域内の移動サービスの提供

Slow・Smart・Safetyをキーワードに、
低速モビリティを活用した街づくり・地域創生を実現。



空き家を“オフィス（働く場）”にプロデュース



シェアオフィス「オトナリ」が、昨年10月オープン

子育て連れオフィスの開設



登録



指導
研修



仕事発注



求人
紹介



働きたいママを募集



各社から仕事を受託





チャレンジする文化 × 地域自主組織

雲南市における「地域活性化起業人」

2019年より2名の方に**ソーシャルチャレンジ特命官**として、雲南市に出向いただいています。

■ 2019年4月～



岡 晴信 さん

株式会社竹中工務店

- ・ 雲南ソーシャルチャレンジバレーの推進
- ・ 企業チャレンジのマネジメント
一都市部企業への展開
地域課題と企業の最新技術のマッチング

■ 2020年6月～



田久保 博樹 さん

株式会社ヒトカラメディア

- ・ 空き家、遊休施設等の活用推進
- ・ 地域活動や定住対策、オフィス利用等への活用プロデュース

2021年10月より新たに1名、**雲南市出身者**に地域活性化起業人として出向いただいています。



梅澤 宏徳 さん（雲南市出身）

ソウルドアウト株式会社

- ・デジタル化の推進に向けた人材の育成、確保
- ・「子ども・若者・大人・企業チャレンジ」の連携推進

ともに覚悟する。ともに挑む。

SOLDOUT

2019年4月、全国にも珍しい、

「市民のチャレンジを応援する条例」 を制定

(市民の権利)

第3条 市民は、チャレンジに取り組む権利を有します。

(市長の責務)

第4条 市長は、雲南市におけるチャレンジの取組を理解し、
必要な支援に努めなければなりません。

うなんコミュニティ財団



チャレンジを創出する機能の「市民営化」へ

まちの未来に必要な事業を
市民が熟議（選択）し、助成・投資する



2020年4月、642人の寄付をもとに設立

コロナ禍における市民のチャレンジ



マスクバンクをはじめます！

 うなんコミュニティ財団
UNNAN COMMUNITY FOUNDATION



ICTを活用して
市内飲食店を支援



おせっかい会議×ヤマハG5M
高齢者を中心に声掛けや
感染症予防対策のチラシ配布

生態系を支える4つのしくみ

1 チャレンジを加速させる 資金調達

ふるさと納税の活用
企業寄付の活用

うなんんコミュニティ財団

クラウドファンディング

マイプロジェクト
未来の学校

中高生! 幸雲南塾

未来をつくる意志と力を育む
子どもチャレンジ



スペシャルチャレンジ"米川"

チャレンジの連鎖

地域と共に社会課題に挑む
企業チャレンジ

自分たちが地域を運営する
大人チャレンジ

多業種多世代
交流拠点

社会実装
支援プログラム

雲南
スゴイね!

スロー・モビリティ

00マーケット

地域や自主組織
住民による地域づくり

市外への発信

市内への発信

報告会
イベント

生態系を支える4つのしくみ

3 チャレンジを加速させる つながる場づくり

三日市ラボ

空き家リノベーション

幸せに暮らし
続けられる
地域をつくる

雲南ソーシャルチャレンジバレー

～ チャレンジャーが育ち合う生態系を育む～

生態系を支える4つのしくみ

4 チャレンジを加速させる 小情報発信・ブランディング

地域おこし人材
多様な働き方
プログラム

兼業・副業
高校生
地域おこし留学

大学生インターン

ローカルベンチャー
協議会

地域課題
解決に取組む

雲南コミュニティキャパス
(U.C.C)

地域・自分を知る
実践する

地域と自分の未来を切り拓く
若者チャレンジ

三日月塾
幸雲南塾
プロジェクト推進支援
卒業生・地域づくり

ここに
住んで
よかったです

失敗のない人生
は失敗だ

地域経営カレッジ
地域に関わる人づくり

地域や円卓会議
みんなが話しあう!

×30組織

地域や自主組織

地域や自主組織